

室内手遊

摺み方

今度は摺み方を申しましたし、摺み方の紙は、たいの半紙でもよろしうございますが、もし千代紙とか色紙とかをつかえば、なを奇麗でございませぬ。

紙の質はやさしいものを摺むには、どんなのもよろしうございますが、むづかしいものになりますと、糊氣のない半紙か美濃紙がでいたしませんと、破れたりすることがあります。

紙の大きさは半紙を、縦に、三つに切つて、それをま四角にした位が、丁度よろしうございます。

先づ圖の通り一番から順に摺んでみましよ、一番は縁どふちとを、能く合せて折り目を付けるのです、摺み方には、この折り目を付けると云ふ

ことが、肝腎でございませぬ、どんなによく摺まうと思つても、折り目を付けなければ、きつと曲つてしまつてうまく出来ませぬ、折り目を付けるには、片手でずらないよりに紙をおさえていて、片手でそーつとこすればよろしいのです、あまり力を入れて、こすりますとけばけばがたつて、きたなくになります。

外のお話が長くなりましたが、さーこゝに出来たものは、立てれば屏風になりますし、平に置けば本のよーです、屏風にしたらならば、中え箱をかいてみてもかもしろいでしよ、本にしたならば表にどぢ糸をかき、本の名をかく紙などをはるとよろしいでしよ。

二番目は机です、この机は前の屏風をひろげてまん中のすぢの所で、兩方の縁を合せて、折り目

をつけて立てるのです。

三番目は前の机を、立てずに横に二つに折るのです、圖を能くごらん下さい、小さな屏風です。

四番は前の屏風の折り目の所で、兩方の縁を合せ、能くおしをおくのです、これは坐蒲團にいたしましよー。

五番は前の坐蒲團を、表の合せ目の通りに、二つに折るのです、紙入れになります。

まだあります次にかきましよー、皆さんも考えてこしらえてごらん下さい。

